

「岐阜市消費生活展 in マーサ21」参加報告



啓発活動の様子



ステージ上での広報活動



【実施日】2011年9月3日（土）～9月4日（日）

【会場】岐阜県岐阜市 マーサ21

【主催】岐阜市（岐阜市消費生活センター）

【出展団体】NACS、家電CR会、Nite、警察署、消防局、NPO団体

【開催内容】

「家族で遊んで楽しく学ぼう！」をテーマに今年も岐阜市内のショッピングセンター マーサ21にて9月3日（土）4日（日）の2日間、岐阜市消費生活展 in マーサ21が開催された。

岐阜市消費生活展は6月の「岐阜市消費生活展 in カラフルタウン」に続いて今年2度目の開催となり、ACAPとしても引続きの参加となった。

両日とも台風12号が東海地方に接近した影響で、愛知、岐阜、三重の公共交通機関のダイヤが大幅に乱れ、岐阜市内においても強風と雨が降り止まない中での開催となる。私自身、開催できるのか、開催しても来場者がみえるのか不安であったが、終わってみると全体の来場者数は2日間で3,413人と非常に多くの方が参加された。

当日のプログラムは、各団体のパネル展示、クイズラリー、おもちゃ病院やものづくり教室などの他に、ミニ白バイの試乗や消防局のパネル展も出展。ステージ上では、悪徳商法被害防止の寸劇や落語、岐阜県のご当地キャラクターも登場し、子供から大人まで幅広い世代の方々を楽しめる内容で会場は大いに賑わった。

ACAPブースではミニ啓発展を行い各企業の啓発資料を展示。恒例となったACAP読み方クイズを実施し、正解者には会員企業が用意した景品をプレゼント。ACAPの認知度向上と消費者啓発に努めた。悪天候にも関わらず、初日の参加者が197名、2日目にはイベント終了1時間前の時点で200名と、準備していた400人分のアンケート用紙が無くなるほどの盛況振りであった。用意した啓発資料も好評で、多くの方が足を止めて熱心に資料を見ていただいた。中にはすべて持ち帰っていただく方もあり、消費者の関心の高さが伺えた。今回の消費生活展でも多くの方にACAPを知っていただくと同時に、充実した啓発活動を行う事ができた。

齋藤 大樹（中部地区部会／プロミス株式会社）